

春の藍綬褒章受章

グリーククラブ創設者
肥田さんおめでとようOBらが
合唱で祝う

男声合唱団グリーククラブを創設した肥田英広さん(昭和経済)の褒章授章を祝う会が11月4日、都内で開かれ、グリーククラブの部長、OBら約10人が参集した。

肥田さんは専大時代の1983年、グリーククラブを立ち上げた。メンバーは20数人。パリトンで学生指揮を担当し、65

年に第一回演奏会を開催。グリーククラブのOBや半生と他、グリーククラブ初期の活動にまい進した。

卒業後は故郷静岡県浜松市中で高校教員と園芸系清見寺の住職を務めてきた。教員を退職した後は、作職に専念、83年から保護司となり更生保護に専

ト」を聞く。また、グリーククラブOBの会フェニックスグリーククラブの練習と演奏会には必ず参加している。

祝賀会では、創設期のグリーククラブの指導者で、専大の校歌や「エール専修」を編曲した音楽家の岡本仁さんが「肥田さんがまいた種が大きく花開いた。歌は祈りの2倍価値があるといわれる。肥田さんはその姿を体現してきた」とたたえた。

在職中顧問を務めた肥田校正名誉教授らの祝辞を受けた後、あいさつに立った肥田さんは「グリーククラブでは、歌を歌うだけではなくクラブを存続するために厳しい規律を作った。それが社会に出て役立った」と当時を懐かしんだ。

「はるかな友に」など

グリーククラブが合唱を被指揮を執り、「エール専修」が全場にあがりました。男声合唱団グリーククラブの指揮で校歌と「希望(のぞみ)の唄」「自由の歌」を全場歌い上げ、分から日本教育会館一ツた。最後に肥田さんが橋ホールで開演される。